

## 償却資産申告書の記載例

第二十六号様式

<p><b>受付印</b></p> <p>令和 年 月 日 茂原市長様</p> <p>1 住所 個人については住民登録地、法人については登記上の本社を記入してください。また、納税通知書や償却資産申告案内等の送り先を住所以外に設定される場合は、住所の下に送付先を記入してください。</p> <p>2 氏名 資産所有者の氏名（法人については、法人名称及び代表者の氏名）を記入してください。 ※ あらかじめ印字されている場合は、印字内容に誤りがあれば訂正してください。</p> <p>取得価額（口）（ハ）欄は、種類別明細書に記入した増加（減少）資産の取得価額の合計を資産の種類ごとに記入してください。</p>	<p><b>令和 8 年度</b> <b>償却資産申告書(償却資産課税台帳)</b></p> <p>※ 所有者コード <b>987654-1</b></p> <p>所 有 者 所 有 者 資産の種類</p> <p>TE297-0028 茂原市道表1番地 モバラナショナルビル2階 (電話 0000-00-0000) 株式会社 モバラインターナショナル 代表取締役 茂原一郎 (屋号 )</p> <p>取 得 価 額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">前年前に取得したもの（イ）</th> <th colspan="3">前年中に減少したもの（ロ）</th> <th colspan="3">前年中に取得したもの（ハ）</th> <th colspan="3">計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>構築物</th> <th>十億 3 043 177</th> <th>百万 1 820 417</th> <th>千 円</th> <th>1</th> <th>十億 1 200 000</th> <th>百万 2 422 760</th> <th>千 円</th> <th>十億 9 800 000</th> <th>百万 10 000 000</th> <th>千 円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>機械及び装置</td> <td>200 000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>船舶</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>航空機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>車両及び運搬具</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>工具、器具及び備品</td> <td>653 000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>500 000</td> <td></td> <td></td> <td>1 153 000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>合 計</td> <td>3 896 177</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1 820 417</td> <td></td> <td></td> <td>11 500 000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13 575 760</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>資産の種類</p> <p>※ 評価額 (木) (ハ) (ト) ※ 決定価格 (ヘ) ※ 課税標準額 (ト)</p> <p>※ (木) (ハ) (ト) 欄は、電算申告の場合は記入してください。電算申告以外の場合は記入不要です。 あらかじめ印字されている場合は、耐用年数に応する減価率により当年度の課税標準額が算出されています。</p>										前年前に取得したもの（イ）			前年中に減少したもの（ロ）			前年中に取得したもの（ハ）			計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)			1	構築物	十億 3 043 177	百万 1 820 417	千 円	1	十億 1 200 000	百万 2 422 760	千 円	十億 9 800 000	百万 10 000 000	千 円	2	機械及び装置	200 000										3	船舶											4	航空機											5	車両及び運搬具											6	工具、器具及び備品	653 000				500 000			1 153 000			7	合 計	3 896 177				1 820 417			11 500 000												13 575 760			<p>3 個人番号又は法人番号 4 事業種目 (資本等の金額) 5 事業開始年月 6 この申告に応答する者の係及び氏名 7 税理士等の氏名</p> <p>8 短縮耐用年数の承認 9 増加償却の届出 10 非課税該当資産 11 課税標準の特例 12 特別償却又は圧縮記帳 13 税務会計上の償却方法 14 青色申告</p> <p>15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地 16 借用資産 (有・無) 17 事業所用家屋の所有区分 18 備考(添付書類等)</p>			
前年前に取得したもの（イ）			前年中に減少したもの（ロ）			前年中に取得したもの（ハ）			計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)																																																																																																																	
1	構築物	十億 3 043 177	百万 1 820 417	千 円	1	十億 1 200 000	百万 2 422 760	千 円	十億 9 800 000	百万 10 000 000	千 円																																																																																																															
2	機械及び装置	200 000																																																																																																																								
3	船舶																																																																																																																									
4	航空機																																																																																																																									
5	車両及び運搬具																																																																																																																									
6	工具、器具及び備品	653 000				500 000			1 153 000																																																																																																																	
7	合 計	3 896 177				1 820 417			11 500 000																																																																																																																	
									13 575 760																																																																																																																	
<p>※印の欄は記載の必要はありません。</p> <p>8~14については、該当するものを〇で囲んでください。</p> <p>資産の所在地が事業所所在地と異なる場合、または複数箇所に所在する場合は必ず記載してください。</p> <p>建物以外の減価償却資産について、借用資産の有無を〇で囲んでください。 なお、借用資産がある場合は貸主の名称等を記載してください。</p> <p>事業所の家屋の名義について、本申告者と同一であるか否かを〇で囲んでください。</p> <p>[18 備考] 欄には、次の事項を記載してください。</p> <p>A 申告する資産がない場合は「該当資産なし」、資産の増減がない場合は「増減なし」等 B 前年中に所有者の住所・氏名または名称等に異動があった場合は異動年月日及び旧住所・旧氏名 C 納税管理人を定めている場合は、その者の住所・氏名 D 「短縮耐用年数承認書」、「増加償却の届出書」等、添付書類の名称 E その他参考となるべき事項 F 特例資産がある場合は、該当する法令 (ご不明の場合は、お問い合わせください。) G 廃業・解散・移転等された場合は、その旨</p>																																																																																																																										

## 種類別明細書(増加資産・全資産用)の記載例

①

前年前までに申告された資産は、種類別、コード順に印字しております（電算申告を除く）。

②

初めて申告する方などで種類別明細書に資産コードが印字されていない場合は、種類ごとに0001から左詰めで記入してください。

③

前年中に減少資産がある場合は、該当する資産の欄に赤線を引き、摘要欄に「廃棄」もしくは「減少」とお書きください。

④

明細書の記載に誤りがある場合、赤線を引いて訂正し、下の空いている欄に正しく記入してください。

⑤

種類別明細書に印字してある資産コードの続きの番号を、種類ごとに左詰めで記入してください。（記載例では、資産種類1の最後の資産コードが0017なので、0018と記入します。）

⑥

資産の名称は、必ずカタカナ・英字・数字（濁音・半濁音は一文字）で20マス以内（長いものは簡略化）に収めて記入してください。

令和8年度

行番号	資産の種類	① 資産コード	⑥ 資産の名称等	数量	取得年月 年号 年 月	(イ) 取得価額 十億 百万 千 円	(ロ) 耐用年数 0 6	減価残存率 0.681	所 有 者 名		枚のうち 1 枚目	
									※ 所有者コード		※ 課税標準の特例 率 コード	
									(ハ)	※ 課税標準額	※ 増加理由	⑫ 摘要
01	1	0 0 0 1	テニシ・ヨウコウシ・	1	H 9 6	301,970	0 6	0.681	十億 百万 千 円 15,098	十億 百万 千 円 15,098	1 · 2 3 · 4	
02	1	0 0 0 2	② コカコウジ	1	H 12 8	219,000	0 5	0.631		10,950		1 · 2 3 · 4
03	1	0 0 0 3	カヘ・コウシ・	1	H 6 3	400,000	1 0	0.794		20,000		1 · 2 3 · 4
04	1	0 0 0 6	③ カンイマシ・キリ	1	H 15 3	1,600,000	0 6	0.681	90,000	90,000	1 · 2 3 · 4	廃棄
05	1	0 0 1 6	カヘ・コウシ・	1	H 9 6	301,790	0 6	0.681		15,089		1 · 2 3 · 4
06	1	0 0 1 7	④ カンイマシ・キリ	1	H 10 3	220,417	1 5	0.856	11,020	11,020	1 · 2 3 · 4	価額修正
07	2	0 0 0 1	フ・レスキ	1	H 20 3	200,000	0 4	0.562		10,000		1 · 2 3 · 4
08	0	0 0 0 1	オウセツセツ	1	H 14 8	653,000	0 8	0.750		32,650		1 · 2 3 · 4
09												1 · 2 3 · 4
10	1	0 0 1 7	④ カンイマシ・キリ	1	H 16 3	200,000	1 5					1 · 2 3 · 4
11	1	0 0 1 8	カ・イコウコウシ・	1	R 7 5	1,000,000	1 5					1 · 2 3 · 4
12	2	0 0 0 2	タ・イヨウコウハツテ・ンセツヒ・	1	R 7 8	4,300,000	1 7					1 · 2 3 · 4
13	2	0 0 0 3	テ・シ・タルインサツキ	2	R 7 2	5,500,000	0 4					1 · 2 3 · 4
14	6	0 0 0 2	ハ・ソコン	1	R 7 2	500,000	0 4					1 · 2 3 · 4
15												1 · 2 3 · 4
17												1 · 2 3 · 4
18												1 · 2 3 · 4
小計						3,896,177						
2						13,575,760						

※印の欄は記載の必要はありません。

注意 「増」、「4」の欄は、1 新品取得

中古品取得、3 移動による受

その他のいずれかに○をつけてください。

⑦ 資産の数量、個数または台数を記載してください。

⑧ 資産を取得した年月を記入してください。  
年号の欄は、昭和は(S)、平成は(H)、令和は(R)と記入してください。

⑨ 当該資産の取得価格を記載してください。  
※取得価格とは、償却資産を取得するために出した金額又は支出すべき金額（付帯費を含む）です。  
※税込／税別については、税務会計上、採用している方式をお選びください。

⑩ 耐用年数省令または国税局長が認めた耐用年数を記入してください。

⑪

表の下部(注意)を参考に、該当する番号を○で囲んでください。

⑫ 課税標準の特例の適用を受ける資産については、摘要欄に「特例」と記載してください。  
また、申告書の備考などに、該当する法令を記入してください。

移設により増加した資産がある場合には、移設前の市(区)町村名を記載してください。

割賦販売等により売主が所有権を留保している資産については、売主の名稱等を記載してください。たとえば当該資産の摘要欄に「※」を付し、申告書の18備考欄に売主を記載する等、どの資産が該当するかを明示してください。

その他、特記すべき事項がある場合には、その旨記載してください。